

耳川水系総合土砂管理に関する評価・改善委員会

第12回 山地・ダム・河道・河口海岸領域ワーキンググループ

令和5年の耳川流域の概況

令和6年3月14日

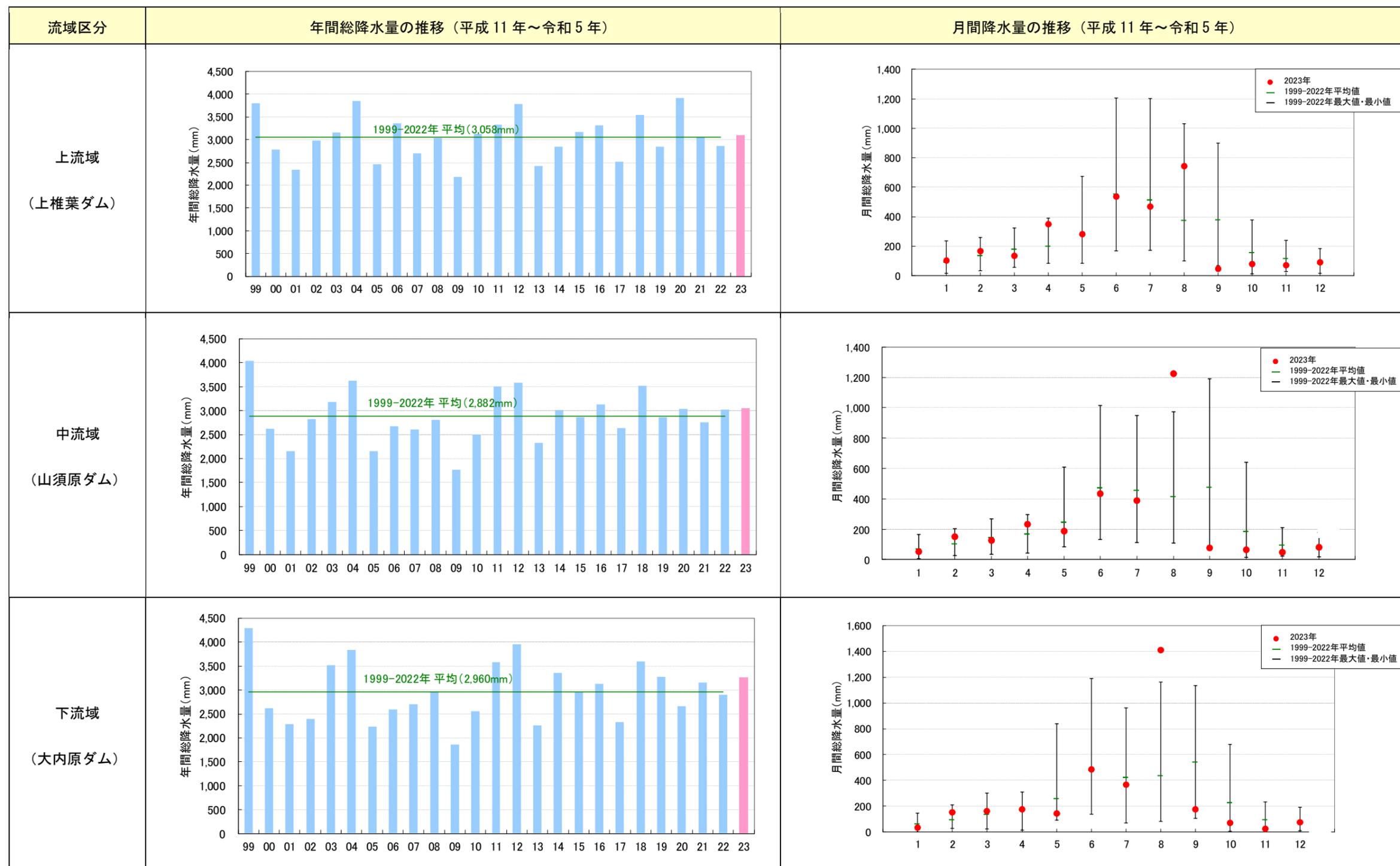
～令和5年耳川流域の特徴～

- 令和5年の年間降水量は、全流域において平均（平成11年～令和4年）をやや上回った。
- 令和5年の主な出水は、台風6号（8月8日～10日）であった。
- 令和5年度の月間降水量をこれまでと比較すると、上流域で平成11年～令和4年の変動の範囲内であったが、中流域・下流域の8月は、平成11年～令和4年の変動幅を超過して大きかった。
- 令和5年で最も大きかった出水は台風6号であり、山須原ダムでは、最大流入量が $2,051\text{m}^3/\text{s}$ であり、平成11年以降の25年間で4番目に大きい規模の流入量であった。また、大内原ダムでは、最大流入量が $2,559\text{m}^3/\text{s}$ であり、平成11年以降の25年間で4番目に大きい規模の流入量であった。

1. 降水量の概況

各流域（上流域、中流域、下流域）の年間降水量と月間降水量を整理した。

- ・令和5年の年間降水量は、全流域において平均（平成11年～令和4年）以上である。
- ・令和5年の月間降水量は、上流域で平成11年～令和4年の変動の範囲内であったが、中流域・下流域の8月は、平成11年～令和4年の変動幅を超過して大きい。



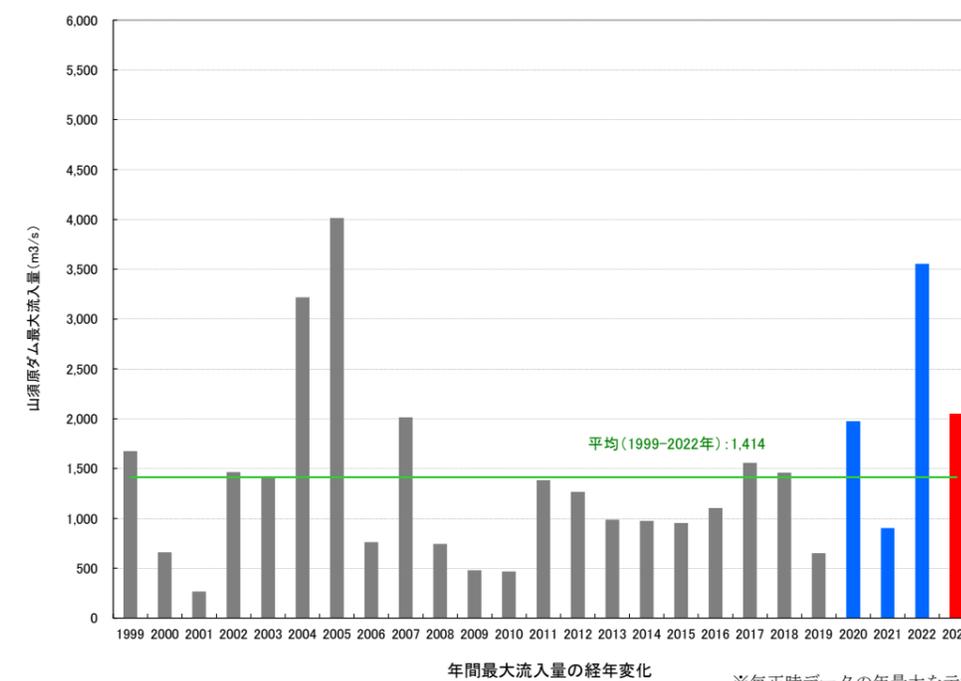
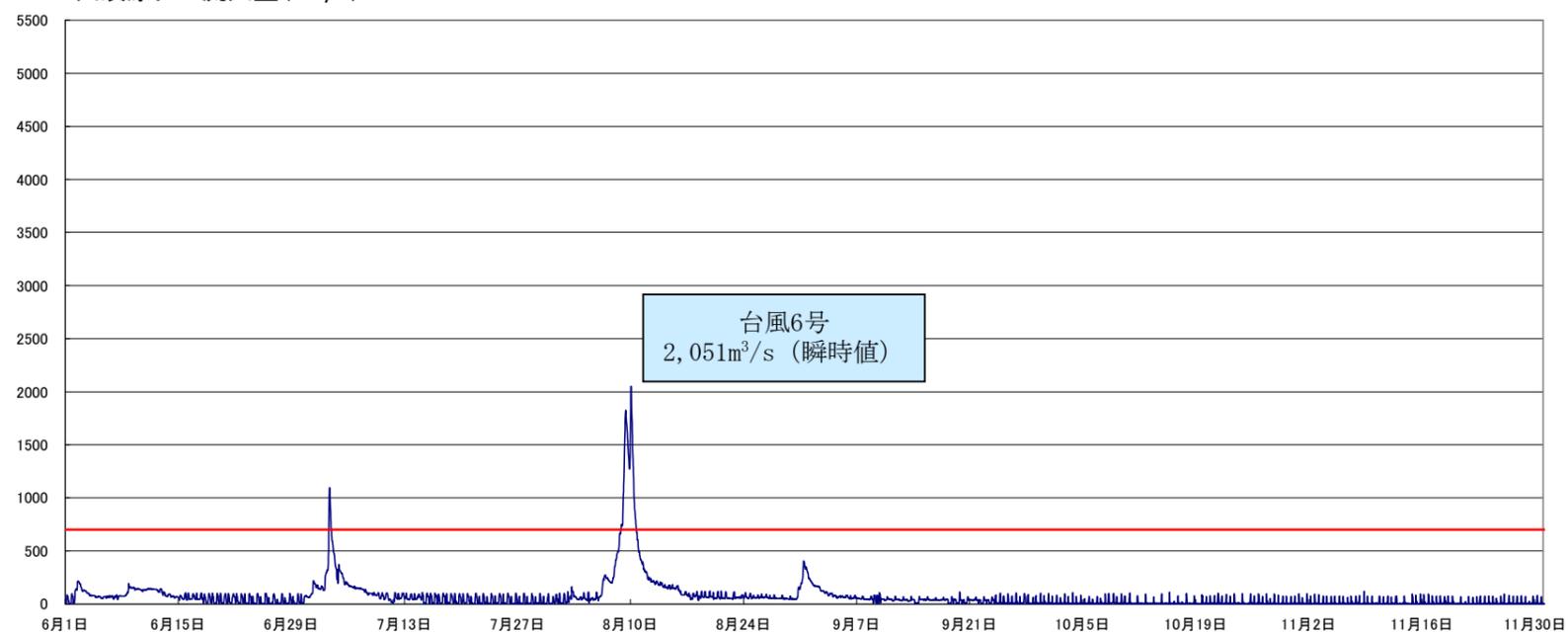
2. 出水の概況

令和5年の主な出水は、台風6号（8月8日～10日）であった。

令和5年で最も大きかった出水は台風6号であり、山須原ダムでは、最大流入量が2,051m³/s（瞬時値）であり、平成11年以降の25年間で4番目に大きい規模の流入量であった。

また、大内原ダムでは、最大流入量が2,559m³/s（瞬時値）であり、平成11年以降の25年間で4番目に大きい規模の流入量であった。

山須原ダム流入量(m³/s)



大内原ダム流入量(m³/s)

